

1 この科目の構成について (改行は Alt + Enter)

教科	芸術科	科目	デザイン		単位	1	単位
対象コース	美術コース	コース	対象クラス	1 年	8・9 組		
使用教科書	高校生の美術1 (日本文教出版)						
使用副教材							

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について (改行は Alt + Enter)

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか デザインは用途があって制作されるもので、グラフィック、プロダクト、インテリア、建築、映像など多岐な分野に渡る。 1年次ではデザインの考え方を学び、デザイン実習の基本要素として最低限必要な課題の実習を目標とする。またコンピューターグラフィックスの基本操作も実習する。
学習内容：この科目で学習する大まかな内容 平面構成はデザイン実習の基本となる課題で、1は色彩論を応用した配色研究。2は言葉のイメージを視覚的に表現する平面構成である。 コンピューターグラフィックスはフォトショップの基本操作を学ぶが、単にその技術を習得する時間ではなく、デザインの様々な課題の中に組み入れて実習される。 1月にCGで制作する作品は、情報を第三者に分かりやすく印象的に伝えるためのデザインの課題。
学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1) 学校 (1) 学校 主に授業時間内で実習し、放課後等、課外時間も有効に使って学習する。 (2) 家庭 夏期休業と冬期休業に出題されるコンクールに向けた課題の制作







3 この科目の評価方法について (改行は Alt + Enter)






評価方法：何を使って評価するのか 完成した作品によって評価する。 技術的、創造的に優れた作品を評価する他、完成するまでの課程、取り組みの姿勢を見る。 各自の力量に合わせた努力度、熱心さ等を加味し、平常点として評価に加える。	
評価における定期考査の割合	0 %

4 この科目の評価の観点について (改行は Alt + Enter)

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか (1) 関心・意欲・態度 課題に取り組む意欲、態度 (2) 思考・判断 課題を理解し、目的を持って思考する力、アイデア (3) 技能・表現 構成力、色彩感覚、表現力、描写力 (4) 知識・理解 コンピューターグラフィックスの知識と理解

5 この科目の学習計画について (改行は Alt + Enter)

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	5	<p>■「コンクールポスター1」</p>   <p style="text-align: center;">道徳</p>	<p>「ポスターコンクール応募」 連休中の自宅課題約 コンクールに出品する作品を制作する家庭課題 「暴力団追放」「防犯ポスター」 以上から一つを選んで制作し出品する ※画材、用紙のサイズは各コンクールの規定にあわせる。</p> <p>道徳教育を実施</p>	●	●	●	●	○
1	5 ~ 7	<p>「平面構成1・色彩演習」</p>  	<p>■「平面構成1・色彩演習」 B3ケント紙にアクリルガッシュ 12時間 配色を検討する段階ではCGを使用</p> <p>4月から5月にかけて学習した色彩論を確認し、応用した課題。 コンピューターグラフィックスの基本操作も学ぶ。 平面構成の基礎課題。</p> <p>以下の条件で配色を決めて制作 A=色相が対照的／B=色相が類似 C=明度が対照的／D=彩度が対照的 E=寒色／F=暖色 G=トーンを類似させ、色相に変化をつける H=トーンに変化をつけ、色相を類似</p> <p>評価のポイント 条件を満たした配色であること G・Hは条件内でより美しい配色であること 作図が正確で仕上げがきれいであること</p>	●	●	●	●	○
2	8	<p>「コンクールポスター2」</p>   <p style="text-align: center;">道徳</p>	<p>「ポスターコンクール応募」 夏季休みの自宅課題約 コンクールに出品する作品を制作する家庭課題 「緑化運動」「防火運動」「薬物禁止運動」「明るい選挙」 以上から一つを選んで制作し出品する ※画材、用紙のサイズは各コンクールの規定にあわせる。</p> <p>道徳教育を実施</p>	●	●	●	●	○

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
2	8	■「エディトリアルデザイン」  	■夏期ゼミ課題 「雑誌のページを想定したレイアウトデザインの制作」 20時間 A3サイズ、横、CG タウン誌のような、身近な所を紹介する雑誌を想定し、テーマをみつけ、資料を集める。 地図、施設案内図をデザインする。 資料を基にして、視覚的に美しく、読みとりやすくデザインされた雑誌ページを制作する。 魅力的な情報が盛り込まれており、より分かりやすく、興味を引くデザインを目指す。 完成後プレゼンテーションを行う。 ■評価基準 テーマに対してアプローチが正しい判断であるか。効果や対比が的確であるか。丁寧な仕事運びが為されているかどうか。	●	●	●	●	○
2	12 ～ 1	■「平面構成2・色と形の効果」  	■「モチーフ構成（アルファベットをモチーフとする）」 B3ケント紙にアクリルガッシュ 14時間 配色を検討する段階ではCGを使用 平面構成の応用課題。 与えられた条件の理解。 コンピューターグラフィックスを効果的に使用しながら、色と形の構成により如何に言葉のイメージが伝わるのか模索していく。 与えられた条件の理解。 ■評価基準 条件を満たした配色であること G・Hは条件内でより美しい配色であること 作図が正確で仕上げがきれいであること	●	●	●	●	○
		■「コンクールホスター3」   	■「コンクールポスター3」 コンクール出品に対応したポスターの制作 冬期休業の自宅課題 「県高総体ポスター他」 ※画材、用紙のサイズは各コンクールの規定にあわせる 冬期休業明け、放課後仕上げる。	●	●	●	●	△